

長野市障害者基本計画

最終点検評価報告書

【総括】

令和2年1月
長野市障害福祉課

目 次

1	計画の点検評価について	1
	(1) 点検評価の趣旨	1
	(2) 点検評価の方法	1
2	成果指標の進捗状況	3
3	指標設定事業の進捗状況	5
4	事業の取組状況	9
	(1) 評価結果の集計	9
	(2) 評価の概要	11

1 計画の点検評価について

(1) 点検評価の趣旨

平成 23 年度から令和 2 年度までを計画期間とし、平成 27 年度に中間見直しを行った「長野市障害者基本計画」(以下、現行計画という。)が来年度に最終年度を迎えることから、これまでの取組状況およびその効果を点検評価し、次期計画の策定に反映させることを目的として実施します。

(2) 点検評価の方法

■成果指標の達成状況

現行計画では、取組に対する成果を測るための「成果指標」を設定しています。

成果指標に掲げた数値目標の進捗状況について、目標値に対し、実績値がとれくらい到達しているか(達成度)を、以下の計算式により算出しました。

達成度が 100%以上で、目標値に到達していることを示します。

$$\text{達成度} = \frac{\text{(実績値)}}{\text{(目標値)}} \times 100(\%)$$

■指標設定事業の進捗状況

現行計画では、中間見直しにおいて、取組状況の進捗を評価するための目安となる「指標設定事業」を設定しています。

目標設定事業に掲げた数値目標の進捗状況について、目標値に対し、実績値がどこまで到達しているか(進捗度)を、以下の計算式により算出しました。

進捗度が 100%以上で、目標値に到達していることを示します。

$$\text{進捗度} = \frac{\text{(実績値)}}{\text{(目標値)}} \times 100(\%)$$

■事業の取組状況

現行計画(中間見直し版)には、具体的な取組として、227 事業が記載されています。この一つの事業について、担当課により取組状況を以下の 5 段階で自己評価し、評価内容(評価の根拠、実績値等)を記載しています。

- ◎…十分な効果をあげている (サービスが定着している、利用率が高い、満足度が高い等)
- …一定の効果をあげている (当初目標未達だが効果あり、効果あるも課題あり等)
- △…効果が得られていない (計画数値を大幅に下回っている)
- ×…事業が行われていない (計画したが事業がスタートしていない)
- 廃止…効果が得られていない (事業を中止した)

■今後(次期計画)の方向性

今後(次期計画)の方向性について、「拡充」、「継続」、「縮小」、「廃止予定」、「廃止済み」、「新規」とその内容について記載しています。

2 成果指標の達成状況

現行計画において設定している成果指標の達成度は以下の通りです。

平成 29 年度及び令和元年度の調査にて同じ設問がない場合は、参考として、類似の設問の平成 29 年度及び令和元年度の結果を記載しています。

基本目標 1 権利・理解の促進

指標の内容		H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
権利擁護・成年後見制度等を知っている市民の割合	権利擁護・成年後見制度	32%	37%以上	-	-
	障害者週間(12/3~12/9)	10%	22%以上	-	-
障害に対する市民の理解があると当事者が感じる割合		30%	44%以上	-	-
(参考) 「障害」に対して市民の理解や地域・行政の社会的支援が進んでいると思う当事者の割合※		35.0% (H29)	-	34.8%	-

※「進んでいる」+「多少進んでいる」

基本目標 2 相談・福祉サービスの充実

指標の内容	H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
困ったときの相談体制について「満足している」当事者の割合	25%	37%以上	15.4%	41.6%

基本目標 3 くらしの充実

指標の内容		H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
直近の1年間に障害のある人と一緒に活動したことがある市民の割合		17%	26%以上	16.6%	63.8%
スポーツ、レクリエーション、趣味等の活動をしている当事者の割合	おとなの割合	47%	50%以上	-	-
	子どもの割合	44%	50%以上	-	-
(参考) スポーツに参加している当事者の割合※	障害者	9.6% (H29)	-	15.7%	-
	障害児	19.2% (H29)	-	31.2%	-
(参考) 趣味などの文化・芸術活動に参加している当事者の割合※	障害者	12.7% (H29)	-	24.4%	-
	障害児	8.8% (H29)	-	28.4%	-

※H29とR1では回答方法が異なるため、単純比較はできない。

基本目標4 教育・育成の充実

指標の内容		H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
学校では、能力や障害の状況にあった支援がされていると感じている障害児及び保護者の割合	大いに満足	26%	50%以上	-	-
	ほぼ満足	56%	-	-	-
「障害のある子どもの教育・育成」に対して満足している障害児・保護者の割合※	障害者		-	5.1%	-
	障害児		-	14.8%	-

※「満足」＋「どちらかといえば満足」

基本目標5 就労・日中活動の充実

指標の内容		H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
現在の日中活動状況について、一般の会社で就労している60歳未満の当事者の割合	身体障害者	42%	47%以上	36.4%	77.4%
	知的障害者	18%	23%以上	20.4%	88.7%
	精神障害者	14%	19%以上	24.3%	127.9%

基本目標6 ユニバーサルデザインのまちづくり

指標の内容		H27 現状値	R2 目標値	R1 実績値	達成度
ユニバーサルデザイン等を知っている市民の割合	ユニバーサルデザイン	34%	36%以上	-	-
	バリアフリー新法	20%	28%以上	-	-
外出時に困ったり、不便に感じている当事者の割合	おとなの割合	60%	50%以下	62.7%	74.6%
	子どもの保護者の割合	57%	50%以下	66.5%	67.0%

3 指標設定事業の進捗状況

指標設定事業の目標値に対する実績値の進捗度について、16 事業 29 指標のうち目標値に到達した指標は、障害者相談支援相談件数や計画相談支援利用者数など 12 指標、50%未満の指標が障害者虐待防止サポートセンター相談件数、障害者差別解消法に伴う接遇対応研修人数、人権教育研究・講演会開催回数など 5 指標となっています。

基本目標 1 権利・理解の促進

第1節 障害のある人の権利を守る					
No	事業名	担当課			
1-1 01	障害者虐待防止サポートセンターの設置	障害福祉課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	相談件数(件)	636	1,000	66	6.6%
No	事業名	担当課			
1-1 02	障害者差別解消法に伴う接遇対応研修の実施と接遇マニュアルの作成	障害福祉課・職員研修所・職員課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	研修人数(人/年)	0	4,850	2,085	43.0%
No	事業名	担当課			
1-1 03	障害者権利擁護センターの設置	障害福祉課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	設置件数(件)	0	1	1	100.0%
第2節 障害を理解する					
No	事業名	担当課			
1-2 14	人権教育研修・講演会	人権・男女共同参画課・家庭・地域学びの課・学校教育課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	開催数(回)	494	560	92	16.4%

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

基本目標2 相談・福祉サービスの充実

第1節 相談支援体制の促進						
No	事業名		担当課			
2-1 05	障害者相談支援		障害福祉課			
	指標		現状値	目標値	実績値	進捗度
	相談件数(件)		13,280	15,000	17,758	118.4%
第2節 福祉サービスの充実						
No	事業名		担当課			
2-1 19	障害福祉計画の推進		障害福祉課			
	指標		現状値	目標値	実績値	進捗度
	計画相談支援等の利用者数(人/月)	計画相談支援	386	545	624	114.5%
		障害児相談支援	71	107	213	199.1%
		地域移行支援	5	9	3	33.3%

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

基本目標3 暮らしの充実

第1節 生活基盤の整備						
No	事業名		担当課			
3-1 01	障害者福祉施設整備費補助金		障害福祉課			
	指標		現状値	目標値	実績値	進捗度
	整備施設数(施設/年)		4	4	4	100%
No	事業名		担当課			
3-1 28	移動支援(外出支援)事業拡大		障害福祉課			
	指標		現状値	目標値	実績値	進捗度
	移動支援	年間利用人数(人/年)	361	331	329	99.4%
		年間利用時間(時間/年)	23,382	21,461	18,496	86.2%
	同行援護	年間利用人数(人/年)	120	202	72	35.6%
		年間利用時間(時間/年)	8,669	12,974	9,730	75.0%
	行動援護	年間利用人数(人/年)	71	92	72	78.3%
年間利用時間(時間/年)		14,942	16,334	12,312	75.4%	

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

基本目標4 教育、育成の充実

第1節 母子保健事業・早期療育体制の充実						
No	事業名	担当課				
4-1 13	発達支援あんしんネットワーク事業	子育て支援課				
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度	
	園訪問相談延人数(人/年)	866	1,800	1,003	55.7%	
第2節 福祉サービスの充実						
No	事業名	担当課				
4-2 23	障害福祉計画の推進	障害福祉課				
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度	
	児童発達支援	延べ利用人数 (人日分/月)	1,371	2,250	1,792	79.6%
		利用人数 (人/月)	112	176	165	93.8%
	放課後等 デイサービス	延べ利用人数 (人日分/月)	1,572	2,650	6,178	233.1%
		利用人数 (人/月)	260	380	570	219.2%
	保育所等訪問支援	延べ利用人数 (人日分/月)	10	23	44	191.3%
		利用人数 (人/月)	8	16	37	231.2%
No	事業名	担当課				
4-2 30	発達支援あんしんネットワーク事業 地域発達支援会議	子育て支援課				
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度	
	参加機関数(機関)	138	241	154	63.9%	
第3節 教育的支援の充実						
No	事業名	担当課				
4-3 33	特別支援教育巡回相談員	学校教育課				
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度	
	相談回数(回/年)	824	900	1,175	130.6%	

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

基本目標5 就労・日中活動の充実

第2節 日中活動の充実					
No	事業名	担当課			
5-2 12	地域活動支援センターの充実	障害福祉課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	1日当たり実利用人数 (人/日(平均))	207	225	164	72.8%
第4節 優先調達の推進					
No	事業名	担当課			
5-4 22	優先調達促進のための計画及び実態調査の実施	障害福祉課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	調達件数(件/年)	70	100	160	160.0%
	調達金額(千円/年)	6,913	10,000	11,895	119.0%

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

基本目標6 ユニバーサルデザインのまちづくり

第1節 ユニバーサルデザインの推進					
No	事業名	担当課			
6-1 01	やさしいまちづくり事業	障害福祉課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	箇所数(箇所/年)	3	6	3	50.0%
No	事業名	担当課			
6-1 27	災害時における応援協定	消防局予防課			
	指標	現状値	目標値	実績値	進捗度
	施設数(施設)	5	16	9	56.3%

※現状値は H26、目標値は R2、実績値は H30

4 事業の取組状況

(1) 評価結果の集計

指標設定事業及び主な事業の取組状況について 5 段階で評価したところ、「◎」(十分な効果をあげている)が 61 事業(26.9%)、「○」(一定の効果をあげている)が 131 事業(57.7%)、「△」(効果が得られていない)が 11 事業(4.8%)、「×」(事業が行われていない)が 14 事業(6.2%)、「廃止」(事業を中止した)が 10 事業(4.4%)となっています。

基本目標別にみると、教育、育成の充実で「◎」の事業の割合が高く、就労・日中活動の充実では「△」の割合が他の基本目標と比べて高くなっています。

章	節	項目	事業数	◎	○	△	×	廃止
1	権利・理解の促進		26	6 (23.1%)	16 (61.5%)	1 (3.8%)	1 (3.8%)	2 (7.7%)
	1	障害のある人の権利を守る	13	3 (23.1%)	8 (61.5%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)
	2	障害を理解する	13	3 (23.1%)	8 (61.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)
2	相談・福祉サービスの充実		39	4 (10.3%)	29 (74.4%)	1 (2.6%)	3 (7.7%)	2 (5.1%)
	1	相談支援体制の促進	18	4 (22.2%)	11 (61.1%)	1 (5.6%)	2 (11.1%)	0 (0.0%)
	2	福祉サービスの充実	21	0 (0.0%)	18 (85.7%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)
3	くらしの充実		37	12 (32.4%)	21 (56.8%)	1 (2.7%)	1 (2.7%)	2 (5.4%)
	1	生活基盤の整備	31	12 (38.7%)	16 (51.6%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	2 (6.5%)
	2	社会参加のために	6	0 (0.0%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)
4	教育、育成の充実		57	27 (47.4%)	23 (40.4%)	2 (3.5%)	3 (5.3%)	2 (3.5%)
	1	母子保健事業・早期療育体制の充実	22	16 (72.7%)	4 (18.2%)	1 (4.5%)	1 (4.5%)	0 (0.0%)
	2	福祉サービスの充実	10	3 (30.0%)	5 (50.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)
	3	教育的支援の充実	25	8 (32.0%)	14 (56.0%)	0 (0.0%)	2 (8.0%)	1 (4.0%)

章	節	項目	事業数	◎	○	△	×	廃止
5	就労・日中活動の充実		23	3 (13.0%)	12 (52.2%)	4 (17.4%)	2 (8.7%)	2 (8.7%)
	1	雇用機会の拡大に向けて	11	2 (18.2%)	6 (54.5%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	2 (18.2%)
	2	日中活動の充実	7	1 (14.3%)	3 (42.9%)	2 (28.6%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)
	3	工賃アップ	3	0 (0.0%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)
	4	優先調達の推進	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
6	ユニバーサルデザインのま ちづくり		45	9 (20.0%)	30 (66.7%)	2 (4.4%)	4 (8.9%)	0 (0.0%)
	1	ユニバーサルデザインの推進	32	6 (18.8%)	21 (65.6%)	2 (6.3%)	3 (9.4%)	0 (0.0%)
	2	地域生活の推進	5	0 (0.0%)	5 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	3	コミュニケーション支援の充実	8	3 (37.5%)	4 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
計			227	61 (26.9%)	131 (57.7%)	11 (4.8%)	14 (6.2%)	10 (4.4%)

(2) 評価の概要

平成28年度の計画見直しをした際に、新規事業として挙げられた事業の評価の各事業の具体的な評価内容及び今後(次期計画)における方向性は以下のとおりです。

■平成 28 年度見直し時の新規事業

基本目標 1 権利・理解の促進

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
障害者虐待防止サポートセンターの設置(障害福祉課)	○	平成 30 年度から権利擁護サポートセンター(虐待防止・差別解消)として、相談窓口の一元化を図り虐待防止及び差別解消の理解促進・啓発事業を行っている。	継続	虐待防止及び差別解消の理解促進・啓発事業を継続する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
障害者差別解消法に伴う接遇対応研修の実施と接遇マニュアルの作成(障害福祉課・職員研修所・職員課)	◎	平成 28 年度に接遇マニュアルを作成し、職員に配布すると共に、毎年度職員に対して研修を実施している。	継続	職場研修推進委員を対象に、障害理解のための研修を行い、職場ごとに窓口対応など職場にあったミニ研修を実施する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
手話言語の普及等に向けた制度化の調査研究(障害福祉課)	△	県の条例制定を踏まえ、会議等への手話通訳者・要約筆記者の派遣等にかかる費用を予算化した。 県条例の浸透について、継続して普及・啓発活動が必要である。	継続	県条例の市民への認知度向上のため、普及・啓発活動を行うと共に、今後市条例の制定について研究する。

基本目標 2 相談・福祉サービスの充実

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
心身障害者相談員設置(障害福祉課)	○	障害を持っていたり、障害のある家族を養護していたりする相談員が、障害のある人の身近な相談員として活躍している。地域での相談の入り口として機能し、必要に応じて専門の相談機関や関係機関に繋げている。	継続	相談員の後継者不足など課題を抱えているが、地域の中で身近に存在する相談員は必要であるため、今後も継続する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
障害福祉計画の推進(障害福祉課)	○	第5期長野市障害福祉計画・第1期長野市障害児福祉計画で見込んだ計画支援事業、障害児相談支援事業などのサービス量を目標として、各事業を計画的に実施している。	継続	引き続き、長野市障害福祉計画・障害児福祉計画で、各支援事業のサービス量を見込み、必要な人に必要なサービスを提供していく。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
医療的ケアの必要な重度障害者の受け入れ体制を図る福祉、医療連携の推進(障害福祉課)	○	福祉制度を利用している障害者児が、安定した生活を送れるように、必要に応じて、医療機関とも連携を図りながら、支援を行っている。	継続	医療依存度の高い障害のある人は、家族の負担が大きく、福祉制度だけでは限界があるため、引き続き医療制度の活用も視野に入れた福祉と医療機関の連携を推進していく。

基本目標3 暮らしの充実

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
長期にわたる疾病等のため、定期予防接種を受けられなかった人への定期予防接種の実施	◎	平成25年1月30日の予防接種法に係る政令改正により当制度を開始したが、周知が進み制度が定着している。	継続	引き続き、長期にわたる疾病等のため、定期予防接種を受けられなかった人に、接種機会を確保するため、予防接種法に基づく定期予防接種を実施する。また、健康カレンダー等を活用した広報を実施する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
(60～64歳のうち予防接種法に基づく障害者等に該当し希望する人への)高齢者肺炎球菌及び高齢者インフルエンザの定期予防接種の実施	◎	高齢者肺炎球菌及び高齢者インフルエンザの定期予防接種の実施している。(高齢者肺炎球菌:平成30年度末対象者351人中131人実施 ※インフルエンザは障害者等の実績統計数値なし)	継続	引き続き、個人の発病及び重症化予防のため、予防接種法に基づく定期予防接種を実施する。

基本目標4 教育、育成の充実

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
発達支援あんしんネットワーク事業(子育て支援課・学校教育課・障害福祉課)	◎	発達支援あんしんネットワーク事業として、地域発達支援会議の開催、発達支援サポートブックの活用推進、園訪問事業を実施している。	継続	引き続き、地域の発達支援に関わる関係者の連携を深めるため、地域発達支援会議を開催していく。また、地域の中では、支援必要時に関係者会議が開催されるよう支援していく。園訪問事業については、こども相談室職員と発達相談員、教育相談担当者、作業療法士、障害福祉関係者などによる、支援専門チームが園を巡回訪問し、個々の支援や園、保護者への対応方法について助言、指導する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
こども相談室の相談事業(子育て支援課)	○	保健師3名、保育士1名、発達相談員3名の職員体制で、相談や支援を行っている。 相談件数 平成28年度 403件 平成29年度 396件 平成30年度 407件 こども相談室だより 年4回発行	継続	子どもに関する相談を最初に受け付ける総合的な窓口として、0～18歳の子どもと保護者の様々な不安や悩みに対応することを継続していく。また、こども相談室だよりも引き続き発行していく。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
発達支援サポートブックの活用(子育て支援課)	◎	平成28年に作成し、配布を開始した。 平成29年度配布数 222冊 平成30年度配布数 151冊	継続	平成28年度に配布した保護者にアンケートした結果、ファイルの書き方がわからなかった等の意見があったので、今後はファイルの効果的な活用方法について検討し、配布時に周知していく。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
放課後子ども総合プラン施設へ向けた相談支援(こども政策課・障害福祉課)	◎	特別な配慮が必要な児童には、保護者の了解の下、保育所等訪問支援による、放課後子ども総合プラン施設での支援を実施している。	継続	保護者の了解の下、保育所等訪問支援のスタッフや療育コーディネーター等専門スタッフを通じて、障害福祉との情報交換等連携支援が可能であることについて、放課後子ども総合プラン施設の支援員に対して周知を行う。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
保育所等訪問支援の促進(※学校、放課後子ども総合プランにおける利用の促進)(障害福祉課)	◎	保護者の了解の下、放課後子ども総合プラン施設の支援員と情報交換連携支援を進めているところもある。	継続	保護者の了解の下、保育所等訪問支援のスタッフや療育コーディネーター等専門スタッフを通じて、障害福祉との情報交換等連携支援が可能であることについて、放課後子ども総合プラン施設の支援員に対して周知を行う。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
特別な支援が必要な園児への支援充実(保育・幼稚園課)	○	関係課・関係機関と連携し、年3回障害に対する理解を深め、教育・保育の質の向上を図るため研修を実施した。医療的ケアを必要としている児童の入所については、安全な保育と医療的ケアが提供できるとみとめられた場合に受け入れを行った。	継続	引き続き、関係課・関係機関と連携し、障害理解を深め、教育・保育の質の向上を図るために研修を実施していく。医療的ケアを必要としている児童の入所については、子どもの最善の利益を考慮し、受け入れ体制の整備を行う。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
特別支援保育の連携推進(保育・幼稚園課)	○	支援会議・関係者会議の開催、小学校への移行支援会議・関係者会議を開催した。 平成30年度 支援会議・関係者会議 144回 小学校への移行支援会議・ 関係者会議 64回	継続	引き続き、こども相談室や関係機関と情報交換を行い連携を図っていく。また、就学にあたり、支援が途切れることのないように引き続き移行支援会議・関係者会議を開催し、情報交換を行っていく。

基本目標5 就労・日中活動の充実

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
地域活動支援センターの充実(障害福祉課)	◎	平成30年4月に、長野市障害ふくしネットかつどう部会で地域活動支援センターの紹介パンフレットを作成し、利用者の拡大に努めた。	継続	障害者の日中の居場所として、地域活動支援センターは定着してきているため、各センターの特色ある活動を紹介しながら、引き続きセンターの充実を図っていく。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
優先調達促進のための計画及び実態調査の実施(障害福祉課)	◎	平成28年度には優先調達促進の説明会を実施し、長野市障害ふくしネットしごと部会の事業所が出席し説明を行った。また、優先調達推進計画を市役所庁内で情報提供し、率先利用を呼びかけている。	継続	障害者の自立促進のため継続して推進する。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
優先調達方針の策定(障害福祉課)	◎	障害者優先調達推進法に基づき、毎年調達方針を作成し市役所庁内に呼びかけている。指標は調達金額としている。	継続	障害者優先調達推進法に基づき、引き続き調達方針を策定し、優先調達の推進に取り組んでいく。

基本目標6 ユニバーサルデザインのまちづくり

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
ユニバーサルデザイン推進体制の構築(障害福祉課)	○	障害者基本計画庁内作成推進委員会ユニバーサル専門部会を通じて庁内各課と連携・情報共有を図っている。	継続	障害者基本計画庁内作成推進委員会ユニバーサル専門部会を通じて庁内各課と連携・情報共有を図っていく。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
スポーツ施設、コンベンションホール棟のサイトライン確保の推進(スポーツ課・観光振興課)	×	検討に至っていない。	廃止予定	今後、施設の大規模改修に当たっては、障害のある方の利用及び観戦に配慮した計画を進める。

事業名	評価	評価内容	方向性	方向性の内容
声の広報事業の推進(障害福祉課)	○	「広報ながの」を音源化してテープ等に収録し、「声の広報」として障害者向けに配布することで、必要な行政情報を視覚障害者の元に届けることが出来ている。平成30年度 23人/月	継続	行政の情報を必要とする資格障害者に届けることは必要とされており、今後とも継続して実施していく。